

2004 年度上期 IA サーバ国内出荷調査報告

ノークリサーチ (本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5 : 代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL:http://www.norkresearch.co.jp)では2004 年度上期の国内 IA サーバの出荷状況を調査した。2004 年度の予測も併せて調査、報告している。

<2004 年度上期 IA サーバ市場のポイント>

2004 年度上期 IA サーバ市場は増勢で、半期過去最高の出荷実績

- 台数では対前年比 23.1%アップで、203,800 台の市場へ
- 金額市場は 6.1%の微増。サーバの低価格化はさらに加速

景気回復の流れを受けて民需、官庁ともに好調に推移

低価格サーバ(タワー型)、ラック型サーバともに大きく伸張

NEC のトップ変わらず、安定した製品供給と販売力が光る

デル、HP、IBM の外資系ベンダの伸びが目立つ

ラック(薄型)サーバは好調で全体の 44.9%を占めた。ブレードは 3.4%で微増。

2004 年度は 17%増の 432,300 台と見込まれる

対象期間 : (2004 年度上期実績) 2004 年 4 月から 2004 年 9 月
(2004 年度予測) 2004 年 4 月から 2005 年 3 月

対象メーカー : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 自主統計参加及び未参加メーカー
日本電気、富士通、デル、日本 IBM、日本 HP、日立製作所、東芝、
三菱電機など

対象機種 : 電子情報技術産業協会 (JEITA) 定義に準ずる

調査方法 : 当該メーカーに対する直接取材及び弊社データベースによる分析

調査期間 : 2004 年 11 月

[2004 年度上期出荷状況]

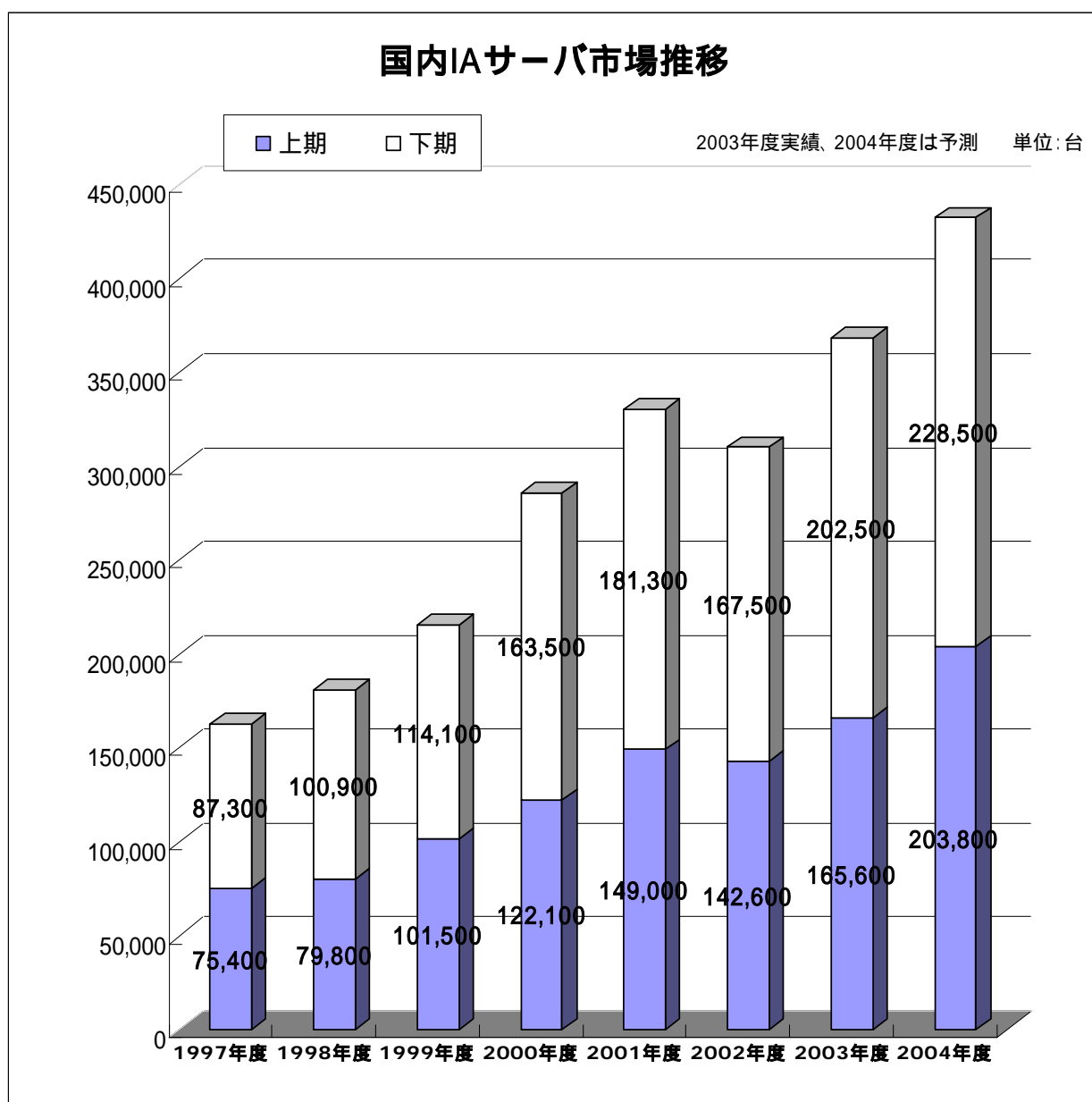
- 対前年比 23.1%アップで、市場規模半期過去最高の 203,800 台へ -

上期は景気回復の流れから全般的に投資意欲は増加傾向にあり、国内 IA サーバ市場は 203,800 台、対前年比 123.1%と好調に推移した。業種的には製造業や金融、官庁、自治体、学校などが特に好調だった。ただし企業規模別では、大企業の需要、需要分野では xSP などの通信分野への大口案件に引っ張られた格好となっている。中堅・中小企業、特に小規模企業での需要が、まだら模様の景気動向ではあったが、全体としては好調に推移した。

またサーバの低価格化は一層すすんでおり、新規需要などの掘り起こしにも奏功し、全体としては好調な市況となった。製品的にはブレードや 64 ビットサーバ、Linux などの話題性は高かったが実需要にはまだ大きな実績としては結びついていない。形状的にはラック型の需要は引き続き好調に推移したが、エントリサーバの低価格タワーの伸びはそれにも増して市場を牽引した。

国内IAサーバ総出荷台数推移/予測（97年度から2004年度）

	上期	前年同期比	下期	前年同期比	合計	前年比
1997年度	75,400	151.4%	87,300	124.0%	162,700	135.4%
1998年度	79,800	105.8%	100,900	115.6%	180,700	111.1%
1999年度	101,500	127.2%	114,100	113.1%	215,600	119.3%
2000年度	122,100	120.3%	163,500	143.3%	285,600	132.5%
2001年度	149,000	122.0%	181,300	110.9%	330,300	115.7%
2002年度	142,600	95.7%	167,500	92.4%	310,100	93.9%
2003年度	165,600	116.1%	202,500	120.9%	368,100	118.7%
2004年度	203,800	123.1%	228,500	112.8%	432,300	117.4%



[2004 年度上期メーカーシェア]

- 総合力の NEC がトップ。2 番手には勢いのデルが猛追、HP が 3 位に返り咲く

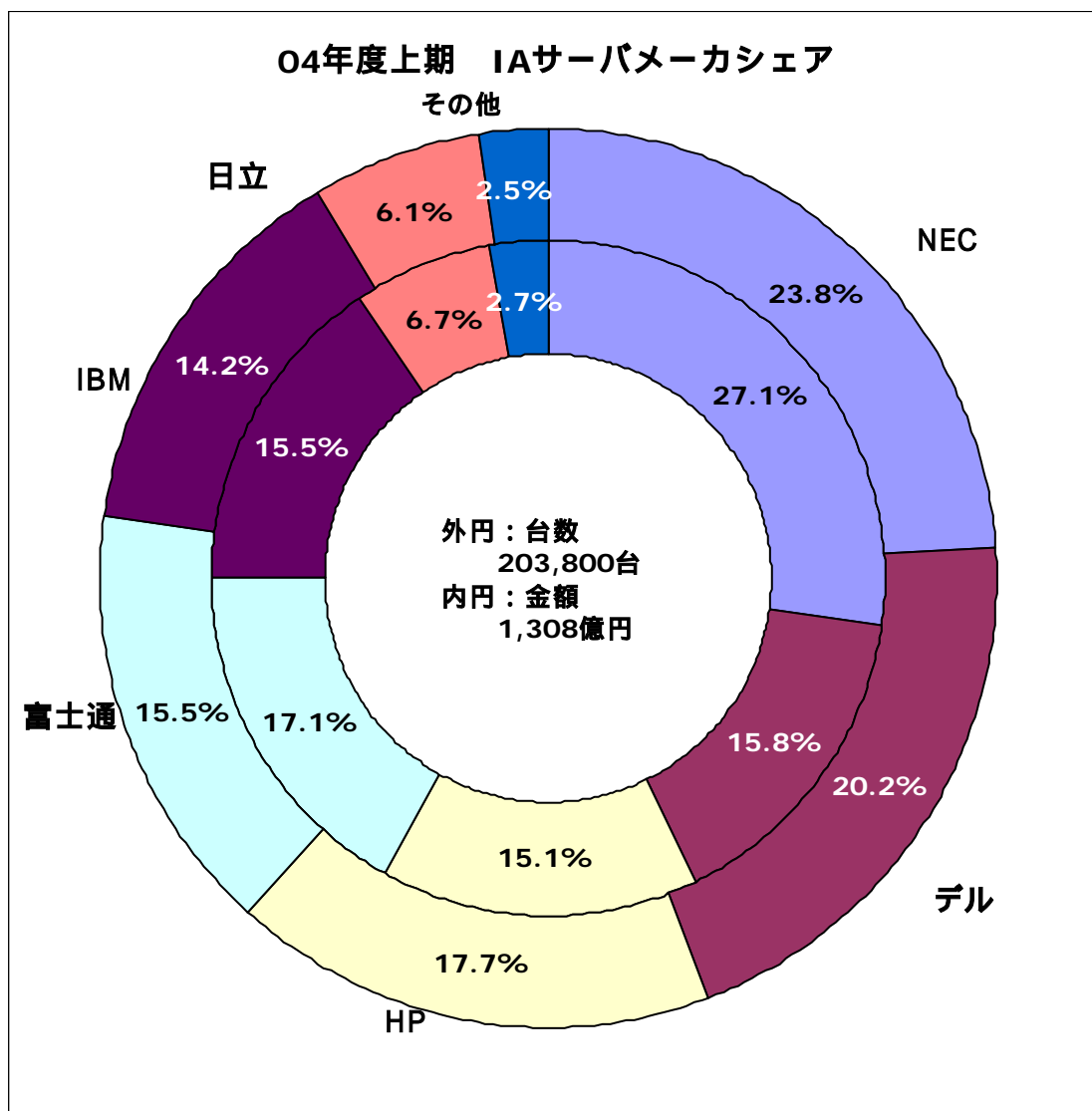
トップ NEC は総合的な製品対応で広く需要を喚起しニーズに対応できたのと、圧倒的な販売力で 23.8%でトップシェアは変わらず。特に官庁や自治体、流通業大手への直販と中堅・中小企業以下の市場ではチャンネル販売で実績を残した。

デルは圧倒的なユーザ支持のもと、中堅以下企業を中心に Web 直販で確実にシェアを高めて 20.2%で 2 番手だ。特に SI 企業によるユーザ指定サーバとして納める「準チャンネル販売」が着実に実績を収めシェアを伸ばしている。

HP はデル対抗馬として真正面からぶつかりながら、価格面での勝負が効果を始め、大きく実績を高めた。xSP へのロット商談や得意のラックサーバ、中堅企業の部門用途での低価格エントリーサーバが特に好調だったことでシェア 17.7%、3 位に返り咲いた。

富士通は大企業向けの需要が好調で、流通や情報産業などでも比較的大口商談はあったものの、官庁、自治体向けが前年ほどの実績がなかったことと、中堅・中小企業以下のチャンネル販売では若干苦戦し、前年対比では平均を下回る伸び率で、シェアでも 15.5%で 4 番手となった。

5 番手は IBM で、中堅・中小企業へのラックやブレードなどで好調に推移し、対前年比で実績を大きく伸ばしているがシェアは微増。

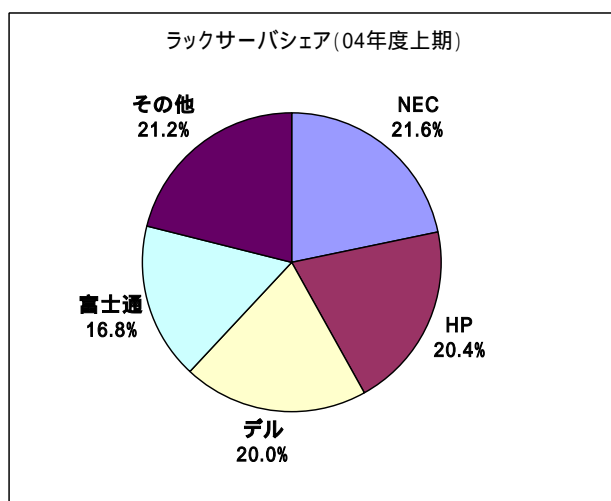
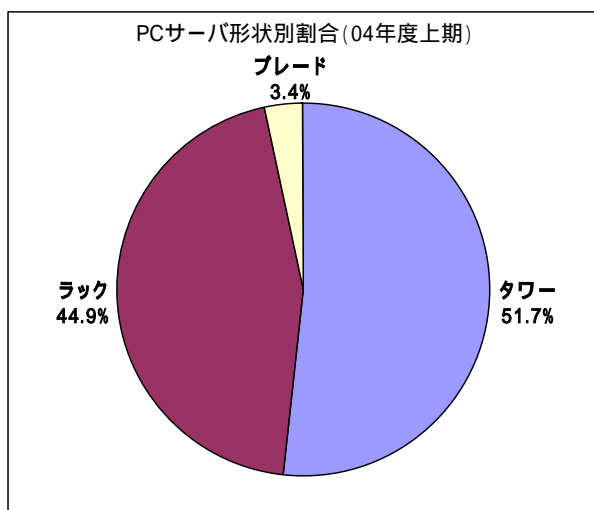


[2004 年度市場展望]

- 対前年比 17.4%の伸び、432,300 台 -

下期は景気回復も若干弱含みの展開で推移しており、サーバ需要も不透明感が見られるが、Y2K リプレース需要、NT サーバからのリプレースなども見込まれ、IT 投資減税などの追い風と低価格化とラックへのサーバ統合化なども加速し、年度末の国産勢の大口需要も手伝い二桁の伸びは期待できるだろう。

2004 年度トータルでは 432,300 台、17.4%の伸びで、40 万台超の市場となることは確実だ。当初ラックの割合が 2004 年度でタワー型を逆転してくるものと思われたが、低価格のタワー型の需要が予想以上に健闘し上期で 51.7%、ラックは 44.9%となっている。一方ブレードはまだ 3.4%と少ないがサーバコンソリデーションなどの民需も着実に顕在化しつつあり、技術的、價格的にも導入軌道に乗りつつある。2005 年度の IA サーバ市場では 10%近い割合となることが予想される



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ
 担当：伊嶋 謙二 いしま
 e-mail: pressr@norkresearch.co.jp
 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5
 電話 5629-2163 FAX 5629-2164
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>